

『ペインズ・ドミニチャク生化学 原書4版』初刷

お詫びと訂正

『ペインズ・ドミニチャク生化学 原書4版』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
さて、本書初刷の記述に間違いがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

(2020年7月)

該当箇所		内 容	
頁	行	誤	⇒ 正
12	図 2.7B 上	C 末端 ← N 末端	N 末端 ← C 末端
59	図 6.1	酵素反応の活性化エネルギー	酵素反応の活性化エネルギー
62	左段・「E, S」で始まる段落の 1~3 行目	酵素の最大反応速度 V_{max} , 非常に高濃度(飽和状態)の基質[S]が存在する, すなわち $[ES] \approx [E]_t$ の時の速度である.	非常に高濃度(飽和状態)の基質[S]が存在する時には[ES]は $[E]_t$ (全酵素量)に一致し, 酵素反応の最大反応速度 V_{max} が得られる.
64	左段・「図 6.2」で始まる段落の 3 行目	たいていの酵素	たいていの酵素
65	右段・下から 9 行目	非競合阻害剤は	不(もしくは反)競合阻害剤は
65	右段・下から 8 行目	非競合阻害剤 non-competitive inhibitor は	不競合阻害剤 uncompetitive inhibitor は
65	右段・下から 6 行目	非競合阻害の反応スキーム	不競合阻害の反応スキーム
66	左段・下から 8 行目	不競合阻害剤	非競合阻害剤
66	左段・下から 6 行目	不競合阻害剤 uncompetitive inhibitor は	非競合阻害剤 non-competitive inhibitor は
66	左段・下から 4 行目	不競合阻害剤	非競合阻害剤
66	左段・下から 3 行目	不競合阻害	非競合阻害
69	左段・上から 5 行目	協調モデル	協奏モデル
69	左段・下から 10 行目	協調(二状態)モデル concerted (two-state) model	協奏モデル concerted model
69	左段・上から 7 行目	連続(多状態)モデル sequential (multistate) model	逐次モデル sequential model
69	図 6.11A	協調モデル	協奏モデル
69	図 6.11 説明文	協調モデル	協奏モデル
69	臨床症例: 殺虫剤中毒	酢酸コリン	酢酸とコリン
70	図 6.13・説明文 1 行目	グルコース濃度	グルコース (Glc) 濃度
260	臨床症例: 遺伝性高アンモニア血症・上から 7 行目	基準値は 15~88mmol/L (25~150mg/dL)	基準値は 15~88μmol/L (25~150μg/dL)
395	図 28.6・ホスホリパーゼ C (PLC) の作用部位	CH ₂ -O	O-P

以上